

## IT技術・デジタル技術の進展を基盤に 人々の生活をより良い方向に導く印刷産業を目指して

謹啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当協会の運営に対し格別のご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、JP産業展協会では現在、2022年5月19(木)・20(金)日の2日間にわたり、大阪市住之江区のインテックス大阪5号館を会場に「JP2022・印刷DX展」を開催する準備を進めています。

印刷業界を取り巻く需要構造は電子メディアの台頭をはじめ、天然資源の枯渇や環境対策における紙の削減などの影響を受け、厳しい状況が続いています。加えて、新型コロナウイルスの感染拡大によって、人々の生活様式が大きく変わり、さらに苦境に追い込まれている状況にあります。

そうした環境下ではありますが、今回の災禍を機に社会全般におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)が急速に進むことが予測され、印刷産業も再編を促す可能性が出てきました。

近い将来、多くの日本企業では、既存のITシステムの老朽化・ブラックボックス化、そして業務の縦割りなどが進み、事業の拡大や企業の成長が大きく妨げられる問題「2025年の崖」に直面することが予測されています。これらの課題を回避するために、多くの企業がDXへの取り組みを始めていますが、その恩恵を享受することは簡単ではありません。

そうした状況を鑑み、大阪で毎年開催される印刷総合機材展であるJP展は、2021年より「印刷DX展」という名称を付加させ、印刷産業においてDXをどのように捉えれば良いのかを出展社と来場者の情報交換によって考察する場となるように展示会構成を変革しました。

46回目の開催となる「JP2022・印刷DX展」は、“デジタルで創る印刷産業の未来～つながる技術、広がる可能性～”をテーマに掲げ、印刷産業が直面する課題を解決することを目指していきます。

同時に、印刷技術を軸とした販売促進に有効なアイデア製品を紹介する「販促アイデアグランプリ2022」を実施し、事業領域を拡大するための情報発信によって、競争上の優位性を確立させていくことを目指していきます。

つきましては、御社が市場に投入されておられる製品・サービスを披露して頂きたく、「JP2022・印刷DX展」へのご出展をお願い申し上げます。



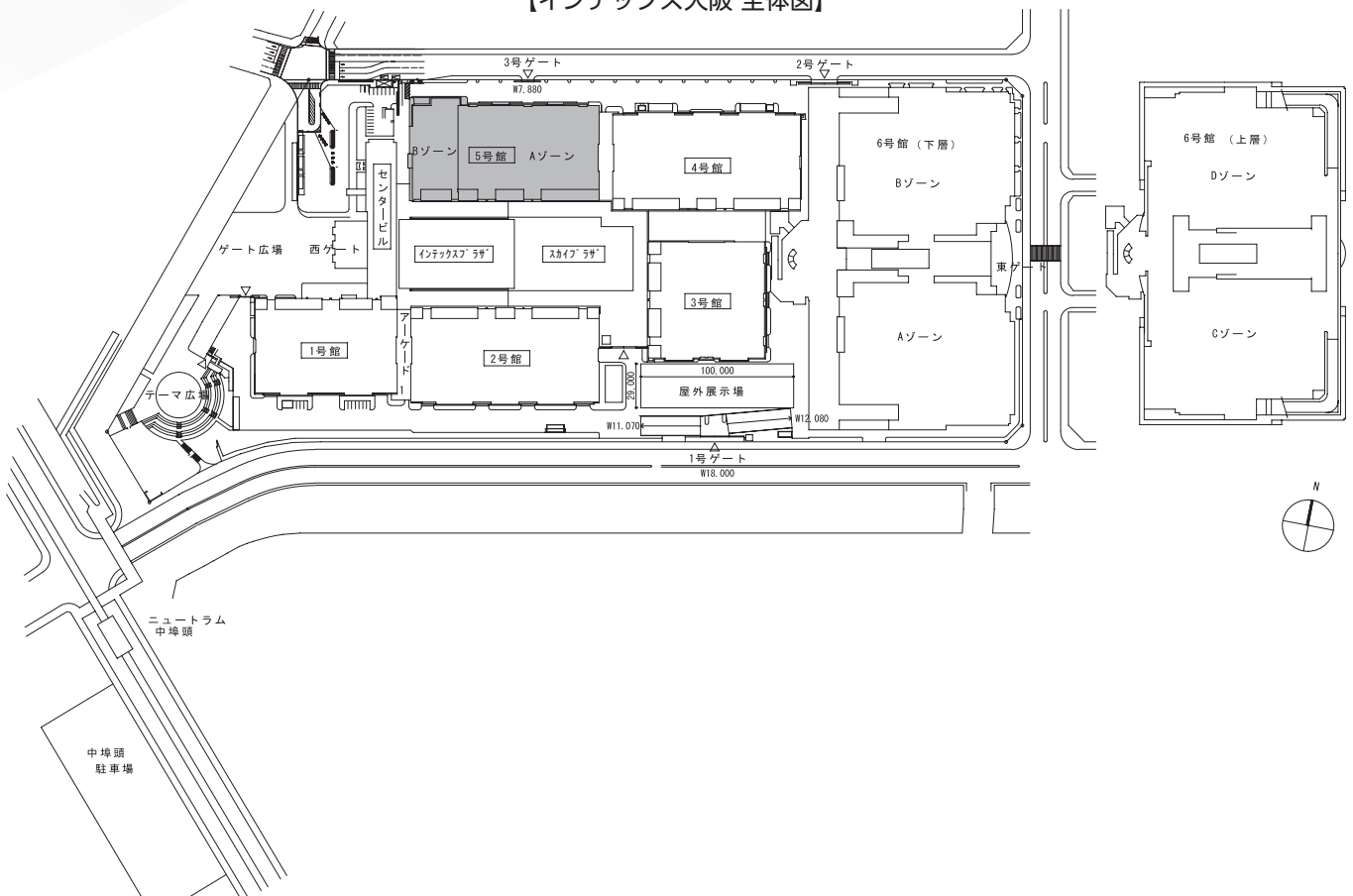
JP産業展協会  
会長 作道 孝行

令和3年10月吉日

## 開催概要

- 名称 「JP2022・印刷DX展」
- 開催テーマ 「デジタルで創る印刷産業の未来 ～つながる技術、拡がる可能性～」
- 会期 2022年5月19日(木)・20日(金)  
5月19日(木) 午前10時～午後5時  
5月20日(金) 午前9時30分～午後4時
- 会場 インテックス大阪5号館(大阪市住之江区南港北1-5-102)
- 主催 JP産業展協会
- 後援 大阪府/大阪市/大阪商工会議所/大阪府中小企業団体中央会/全日本印刷工業組合連合会/日本製紙連合会/日本洋紙板紙卸商業組合/公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会(以上予定)
- 協力 公益社団法人日本印刷技術協会/大阪印刷関連団体協議会/大阪府ものづくり振興協会/販促アイデア協議会(以上予定)

【インテックス大阪 全体図】



## 「JP2022・印刷DX展」のテーマ設定について

### 設備の組立

設備を導入するためには資金的にも人的にも、それに見合う仕事の質量が求められます。失敗しない最も効率的な設備を選択するためにもFront以前の需要創出策を十分に考えることが必要になります。この営業力と設備力は、デジタル機器という得体のしれない能力と、知恵と知識と情熱という人間力の等価交換であることも確かです。人口減少による人手不足が問われる中で、人手を設備に転化していかなければならない時代の中にいます。企業の継続発展のために設備の効率化が必要になる、その一方で効率運用のためには仕事量の確保が必要にもなる。こうしたトレードオフの状況は、どんな場合でも付きまといまいます。突破口を見つけるのは、何時の場合でも人の意欲と設備力の調和にあるといえるのではないのでしょうか。

### 矛盾課題からの脱出

JP展は、スマートファクトリーの構想を提示するわけではありません。できる所からの自動化は必須条件だとしながらも、着実に自動化のステップを積み重ねられる道を探すことを目的としています。そのために一番手堅い方策として、フロント（経営や管理に当たる前線基地の意味を込めて）側から体制を固め、突破口となる適切な設備を見つけてもらうことを目指していきます。

### 「JP2022・印刷DX展」会場を構成する展示分類

#### 【印刷DX連動展示】

##### 管理系システム

MIS（経営情報システム）・生産管理・生産業務モニタリング・分析ツール（BIツール）ほか

##### ソフトウェア系システム

プリプレスワークフロー・オンラインデータ入稿・オンライン校正・自動データ処理（バッチ化・面付・カラーマネジメント・出力）・デジタルマーケティングツール（MAなど）・バリエブル印刷データ生成ほか

##### ハードウェア系システム

各種印刷システム／プリントシステム・各種加工システム・自動処理・検査装置・ロボティクス（AGVなど）・関連資材（各種材料／資材・プレート・色材）ほか

#### 【企画展示ゾーン】

##### 産業用途印刷ビジネスゾーン

##### 販促アイディアグランプリゾーン

■設備設計 オフセット印刷機、デジタル印刷機、後加工自動化機器、製本関連機器、各種サンプル製品の展示、シール・ラベル印刷機、パッケージ印刷機、特殊小型機器、デジタル加飾機、大判インクジェットプリンタ、デジタルマーケティングツール

■出展対象製品・技術・サービス

#### 【機材展示】

プリプレス、各種印刷機械（オフセット・フレキソ・グラビア・デジタル・インクジェット・スクリーン・シール・ラベルなど）、データ処理・ソフトウェア、プリメディア・マルチチャネル、ポストプレス、製本・加工・仕上機械、包装印刷、コンバーティング、プリンテッドエレクトロニクス、ナノ技術、3D印刷、各種紙・段ボール・フィルム、包装資材、インキ・塗料、化学品・添加剤、接着剤、周辺機器、測定・検査技術ほか

## 【販促アイデアグランプリ2022】

クリアファイル・製袋・カード・商品券・うちわ・荷札・シール・ラベル、ダイレクトメール・オリジナル封筒・オリジナルTシャツ・手帳・空撮事業・デザイン集、デザイン制作サービス・サインディスプレイ、AR（拡張現実）・VR（仮想現実）・MR（複合現実）・WEB受注システム・ホームページ作成サービス・電子ブック・オリジナルアプリほか

### 出展小間料金

1小間 209,000円（税込） 間口3.0m×奥行3.0m×壁高2.7m（出展小間料金には基礎装飾・電気工事費用は含みません）。

### 出展申込先

JP産業展協会事務局（印刷タイムス株式会社内）

〒530-0054 大阪市北区南森町1-1-26 TEL：06（6311）0281 FAX：06（6311）0288

### 出展申込締切日

2022年1月20日（木）

お申込み件数が予定小間に達し次第締切りとさせていただきます。

### 出展契約の成立・契約成立後の変更または取り消しについて

主催者が「出展申込書」を受理した日をもって、出展契約の成立とさせていただきます。いかなる理由があっても契約成立後の出展の変更および取り消しはできません。出展取り消しの場合は、下記のキャンセル料を申し受けます。出展契約成立～開催60日前まで出展小間料金の50%、開催60日前～開催日当日出展小間料金の全額。

### 搬入出期間

■搬入日 2022年5月16日（月） 午後1時～午後5時

2022年5月17日（火）・18日（水） 午前9時～午後5時

■搬出日 2022年5月20日（金） 午後4時～午後8時

※2021年10月現在の予定であり、出展内容によって変更となる場合があります。出展社説明会で詳細は発表します。

### 小間の割り当て

主催者は出展社の業種、出品物の種別・形状・会場の構成などを勘案のうえ、小間の割り当てを行い出展社に連絡致します。割り当てられた小間の一部または全部を主催者の承認なしに譲渡または貸与することはできません。主催者は入場者整理の都合上、または展示効果向上のために小間図面を変更し、それに関して小間を再配置する権利を有します。その際、出展申込者は、小間位置の変更に対する賠償責任はできないものとします。

### 実演

出品物の実演などは自由ですが、はなはだしい音響・発煙・臭気を伴うもの、または主催者が危険と認められるものは実演の中止をお願いすることがあります。説明員によるマイクでの説明は、他の出展社の迷惑とならないよう音響を調整頂くか、専用イヤホーンを使用下さい。

### **管理保全**

主催者は、出品物の管理・保全について、警員を配置するなどの事故防止に最善の注意を払いますが、あらゆる原因から生ずる損失または損害についてその責任を負わないものとします。

### **展示会の中止・延期について**

主催者は、展示会が開催される土地建物が入場に不相当となった場合をはじめ、不可抗力が原因とな開催が妨害された場合、出展社および来場者の安全性が確保できないと判断した時、その自身の判断によって会期の変更、もしくは開催を中止することがあります。主催者は、これによって生ずる損害、費用の増加、その他事態については責任を負わないものとします。

### **法令・規約の遵守**

出展申込者は、日本国内の各種法令を順守するとともに、主催者が定める一連の規約（出展申込書、出展マニュアルなど）を本契約の一部とし、これを遵守することに同意するものとします。万が一、法令・規約に違反した場合、主催者は、展示会来場者の安全性を確保する観点から、理由の如何に関わらず出展を拒否もしくは取り消すことがあります。この際生ずる損害などに対し、主催者は一切の責任を負わないものとします。

### **出展社説明会**

出展社説明会は、2022年3月に大阪地市内で開催する予定です。なお、会場・日時については追って各出展社に直接連絡致します。

### **小間装飾**

出展小間料とは別に施工費（社名板・バックパネル分）を頂きます。基礎装飾はシステムパネルで制作しますが、サイズ仕様および色については出展社説明会でお知らせします。出展社が独自で特別装飾をする場合は、事務局に届け出て適宜施工して下さい。ただし、すべての使用材料は必ず不燃物のものを使用し、他の出展社の迷惑や混雑防止に十分留意して下さい。出展小間内に天井を設置する場合は、必ず煙探知機を設置し、消防署の許可を受けることが必要となります。また、危険物（出品商品を含む）に関しても、事前に申請する必要があります。

### **電気設備および幹線工事費**

電気工事申込書は、指定の期日までに必ず提出して下さい。期限後の申込みについては特別料金を申し受けることがあります。供給電気方式は①交流单相100V60ヘルツ②交流单相200V60ヘルツ③交流三相200V60ヘルツとなります。

上記以外の特殊電圧は供給できませんのでご注意ください。特別電源を使用する場合は電圧調整器および周波数変換機を必ずご持参下さい。蛍光灯、高圧水銀灯は定格定量の50%増として計算します。電気の幹線工事費（電気使用料金含む）は会期中を通じて、单相・三相とも1kw=7,700円（税込）で計算します。

水道およびダクト給水・排水工事を必要とする出展社は主催者が指定する業者に申請して下さい。工事はあらかじめ見積もらせたうえで着手します。なお、工事に必要な経費は全額出展社の負担となります。会期中の水道使用量は別途料金を請求します。申込み手続きが必要な事項下記の各事項を必要とする出展社は必ず提出して下さい（申込用紙の配布と内容説明については出展社説明会にて行います）。

水道配管工事申込、特別装飾業者登録申請書、電気申込書（全出展社）、床工事施工届出書、危険物（油類）持込届出書、搬入出希望日時申込書（全出展社）